

校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和5年度学校だより 「天の子」 第19号	発行日	令和6年3月25日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～自ら学び、考え、行動する力と、豊かな心を育む～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 前田 徳三

【3学期修了式】

令和5年度は本日で終了します。今年度は、すべての学年が一堂に介した体育大会を開催することができ、皆さんの多くの笑顔を見ることができました。（中略）

2点の話をします。1点目は卒業式についてです。

先日の3月8日に、3年生288人は本校を卒業し、新たな道に進んでいきました。とても立派な卒業式で、私自身、卒業生から多くの感動をもらいました。また、多くの来賓の皆様もとても感動され、涙を見せる方もいました。（中略）

校歌は学校にとってとても大切なものです。天王寺川中学校の永い歴史や伝統がつながっていると感じました。

2点目は、皆さんが持っている可能性を引き出す話です。「年々歳々花相似（ねんねんさいさい はなあいに）たり。歳々年々人同（さいさいねんねん ひとおな）じからず」という言葉があります。（中略）厳しい冬の寒さを乗り越えたら、必ず綺麗な花咲く春がやってきます。そうした自然の営みは、毎年変わることなく必ず、繰り返されます。しかし、私たちは、1年というサイクルを繰り返しているように見えても、「去年の自分と今年の自分はまったく同じ」ということはありません。みなさんは、今年1年間で大きく成長しました。来年度もさらに大きく成長します。（中略）

皆さんは孟宗竹を知っていますか。この竹は、種を蒔き、毎日水をあげても中々、芽がでません。いつか、いつかと長く待つこと5年、ある日、突如として芽を出します。それから嘘のように急激に竹は伸び、1日、2日で1m以上も成長し、一気に20～30mの高さまで伸びる成長を見せます。この竹を掘り返すと、その根の長さは、何と1000m以上にもなっています。この竹は、5年間、芽を出すまでに、何もせずじっと閉じこもっていたのではなく、誰もわからないところで、ひたすらに大きく成長するための芽を出すために力を蓄えていたのです。（中略）

1学期末の終業式に、1%（0.01）の法則について話をしました。（中略）

1日の1%は15分です。例えば、15分だけ小問題に取り組む、15分だけ読書をする、15分だけ片付けをする、15分だけ筋トレをする、15分だけ文章を書くなど、1日15分の積み重ねを毎日欠かさず、続けていれば必ず力がつき、「今日もできた」という自己肯定感を高めることにも繋がります。これを習慣化してください。（中略）

『一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言い訳が出る。』毎日の小さな努力の積み重ねが、自分の歴史を作っていきます。来年度もしっかりと勉強や部活動、学校行事などに取り組んでください。皆さんの活躍を期待しています。

【表彰等】

- <県地区対抗大会> 優秀選手賞 女子テニス部 西尾美桜
 <阪神大会> 優勝 柔道部（冬季大会）、第三位 女子卓球部 森川きらり
 <市民スポーツ祭> 第二位 ソフトボール部、男子テニス部 槌田・徳田ペア
 <春季大会> 優勝 野球部、女子テニス部（兼会長杯）
 優勝 女子テニス部 辰元・西尾ペア、
 準優勝 男子テニス部 槌田・徳田ペア、女子テニス部 森山・中川ペア
 <伊丹選手権> 第三位 男子卓球部 原口佳輝、女子卓球部 森川きらり、柴田 帆夏
 <学年別大会> 優勝 剣道部 大久保陽咲（2年女子の部）、田中優斗（1年男子の部）
 第三位 剣道部 阪元麗愛（2年女子の部）、
 岩本尊之、富永樹（1年男子の部）、星野和花（1年女子の部）
 <県駅伝競走大会> 出場 陸上部 男子 畠優心、女子 入江楓、伏屋咲希、和泉直歌
 <小野市理事長杯> 優勝 サッカー大会
 <人権ポスター作品> 櫻井美咲、森下さゆみ、高橋莓花、田中こころ、濱武翔悟、直島心美、森優亜、
 澤山玲哉、松尾夢音、藤田りお



<伊丹を楽しむ食品サンプル展出版>

倉谷璃星、小竹泰雅、三千えり、下平夢羽、藤本菜緒、松原優杏、本山優衣、若林凜音、伊藤旬輝、
 岩田美愛、阪元麗愛、篠崎やちる、素川梨音、瀬畑舞、中本絢菜、安福愛、赤松芙羽来、
 大久保海音、河村朋佳、滝本紫音、辰元莉衣弥、谷口愛弥、寺西仁、伏屋咲希、岸健太郎、
 谷田佑磨、田村芽唯奈、中嶋はるか、大和千遥、伊藤優月、小川姫奈、原楓夏、大和愛奈、
 若村実海、和田彩里、浅田紗里、木村小夏、河野真依、小林結衣花、繁田大和、松田友菜

<伊丹子ども市展>

（入選） 鯉江桃子、西村小梅、福井一愛、岡本芽依、長谷川来南、米田澤良、安保咲希、
 樋口悠斗、岩橋京花、和泉直歌、丸池結愛、眞瀬田果央、貴田澤、中村結衣

<伊丹市理科自由研究> 最終秀賞 品田翔伍、佳作 赤松芙羽来

<家族へ思いを届けようプロジェクト 2023> 優秀賞 河内颯奈

<第42回全国中学生人権作文コンテスト> 感謝状贈呈

<伊丹市児童・生徒顕彰>

（英語検定） 八重尾結菜（2級）、多久島羽菜、山田泰暉、藤田維知人、坂上凜奈（準2級）

（漢字検定） 櫻井美咲（2級）、佐藤あおい（準2級）

<伊丹市小・中学生読書感想文集（第40号）>

槌田光紘『人が作った川荒川』を読んで、阪上いち恵『グッド・バイ』を読んで

<RI（読書）グランプリ> 優勝 1年5組、2年5組、3年6組（R5.4.10～R6.2.26）



	優勝	第二位	第三位	最優秀賞	第二位	第三位
1年	5組（1108冊）	7組（1046冊）	6組（927冊）	吉永一惺（116冊）	木島兼統（69冊）	阪上いち恵（67冊）
2年	5組（890冊）	2組（855冊）	4組（837冊）	大和千遥（102冊）	福山珠央（97冊）	古屋数綾馬（58冊）

天王寺川中学校の取組や子どもたちの様子をホームページに載せています。是非、ご覧ください。

https://www.itami.ed.jp/school/Jrhigh/jr_tenn/index.html

※右のQRコードをお読みいただき、天王寺川中学校のホームページをご覧ください。

